

1.2 自治体全体での積極的な教育の情報化（徳島県東みよし町教育委員会）

東みよし町は、徳島県の西北部、四国のほぼ中央部に位置し、北には讃岐山脈、南には四国山地の急峻な山々を有し、中央部を吉野川が西から東に流れる、豊かな水と緑に恵まれた温暖な気候の地域です。高校野球で有名な池田高校もこの地にあります。

【現状の認識】

総務省のフューチャースクール推進事業に東みよし町立足代小学校が選ばれました。



校内に安定した無線LAN環境が構築され、全教室にIWB（インタラクティブホワイトボード Interactive Whiteboard：電子黒板）が設置され、全児童に専用のタブレットPCが配布される環境が整備されました。1年生から6年生までの全ての教員で研究実践ができ、ICT支援員が常駐することでICT活用だけではなく、フューチャーな環境を生かしたクリエイティブな発想で、授業や校内環境整備を工夫し運用がスムーズに行えるなど、3年に渡る実証で授業に関する情報化の目途がたっています。



一方、教員の事務仕事では忙しいという状況が存在しました。「忙しい」というのは、利用者側から

見ると「忙しさをミスが発生していないか」、「多忙なあまり担当者がパニックになっていないか」と不安になる状況です。学校に、先生に“余力”を持ってもらうことが必要であるということです。

【校務支援システムの導入】

「学校の余力」を確保するために、町全体で校務支援システムの導入を決めましたが、導入にあたっては以下の3点を基本条件としています。

- ① 校務支援システムの導入と同時に、慣例を改善
- ② 学校独自の様式やデータを教育委員会で標準化
- ③ トップダウンとボトムアップの両輪で組織的に準備

出席簿や指導要録などについては、その様式が設置者である教育委員会により統一されていることがほとんどですが、校務支援システムの導入においては、通知表や学校日誌などの様式の統一または標準化がポイントになります。東みよし町では、教育委員会管理規則を「学校教育法施行規則第28条に規定する表簿は、校務支援システムにより作成された電子データを表簿とする。表簿の様式については、特に定めのあるものの他は、教育長が定める様式とする。」と改訂し、ローカルルールを無くすとともに、学校独自の様式を極力減らし、情報化を推進しました。また、転出の際など、電子化したデータを印刷して証明する場合に備えて「押印省略」がわかるための原本証明印も作成しました。

【教育クラウドの活用】

東みよし町のような小さな規模の自治体では、校務支援システムを運用するために必要なサーバを自前で整備することは費用面や人材面で難しく、大規模地震などの自然災害から物理的に守ることを考えると、専用のクラウドサービスを利用することが妥当と考えて導入を決定しました。

導入にあたっては、サーバスペック等の技術的要因ではなく、想定されるサービスを明確にし「安心スペック選定」を行い、自治体や学校のWebサーバとは異なるドメイン設定とすることや、ITサービス管理の国際規格「ISO20000」を取得しているもしくは同等の企業でかつ教育専用クラウドであることなどの条件を設定しました。そして、これらの条件に見合う企業（株式会社JMC）の教育専用コミュニティクラウド（and. T）に決めました。

【校務情報化の推進組織を設置】

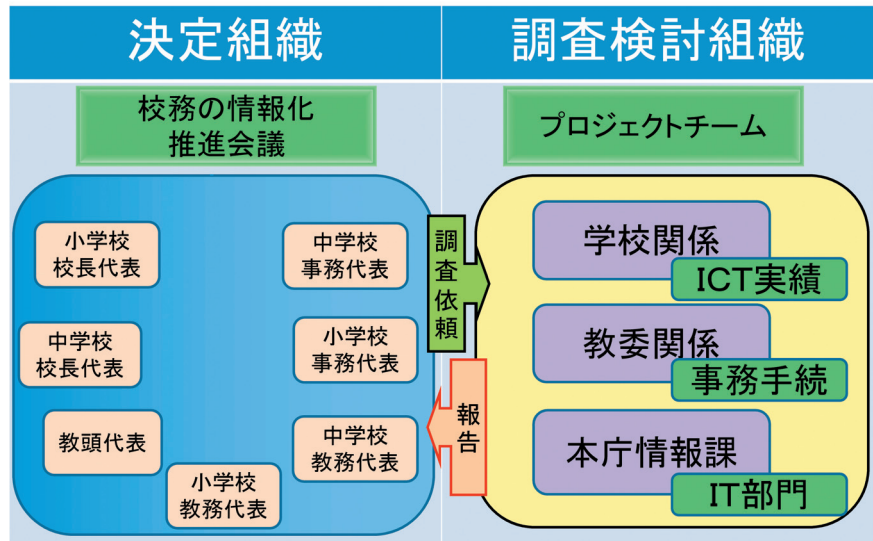
校務支援システムを導入することは、教職員の事務作業を効率化し、先生が子どもと向き合う時間を作るという大前提はもちろんです。校務の情報化でこれまで見えなかった付加価値のある情報が表に出てくることを期待しています。そのためにも、東みよし町教育委員会が責任を持って推進する必要があります。教育長のリーダーシップで学校現場と協力して、つぎのような2つの組織を設置しました。意思決定組織として、小中学校の学校長の代表、教頭の代表、教務の代表、学校事務の代表で構成される「校務の情報化推進会議」。調査検討組織としてICT実績のある学校関係者、教育委員会担当者、本庁のIT部門からなる「プロジェクトチーム」です。



特集 4

あなたが住む街の学校教育ICTへの取組

プロジェクトチームには専門性の高い人選を行ない、学校現場だけではなく、教育委員会行政職、本庁の情報課というように自治体全体のICT関係者を招集し運営しました。この2つの組織で、教育クラウドの概要の共通理解、教育委員会及び学校教育関係セキュリティポリシーの策定、校務支援システムに必要な仕様の決定などを行いました。

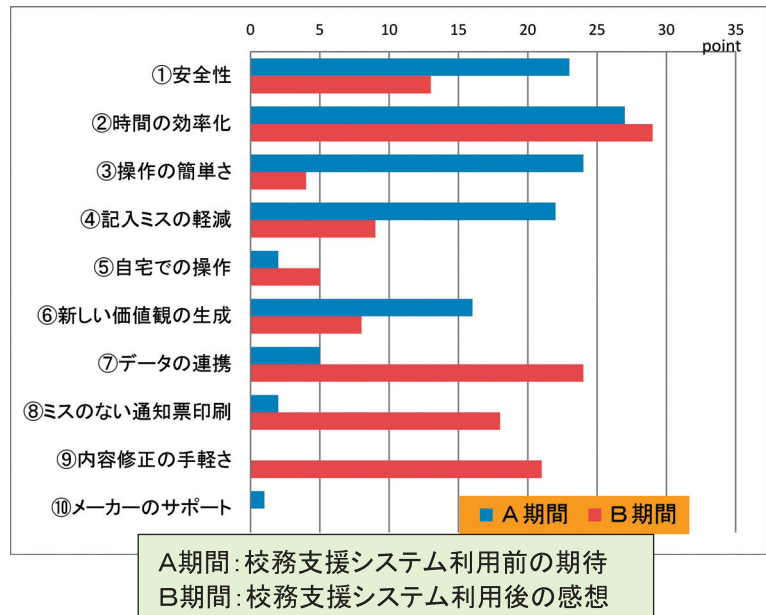


その組織が作成した報告書を

基に町議会や保護者に対して、分かりやすい説明の工夫を行ない、コミュニティクラウドや校務支援システムの導入に対する不安や懸念を払拭し、予算確保に繋がりました。

【導入の効果】

導入後の利用者の声としては、「一度入力したデータが全てに反映されている便利さ」(データの連携)、「表計算ソフトでは、印刷時にずれが生じていたが、それがなくなった」(ミスのない帳票印刷)、「必ず最新のデータがあるので、ファイルを探す必要がない」(内容修正の手軽さ)などが数多くあり、時間の効率化は確実に成果が出ています。その結果、学校現場に「時間」と「安心」による余力が生まれ、突発的な問題に学校全体でかわれるようになり、児童生徒に対してよりきめ細やかな指導や、教師自身の研鑽の時間確保に確実に繋がっています。



(東みよし町の事例に関するお問い合わせ先)

東みよし町 教育委員会

TEL : 0883-79-3630